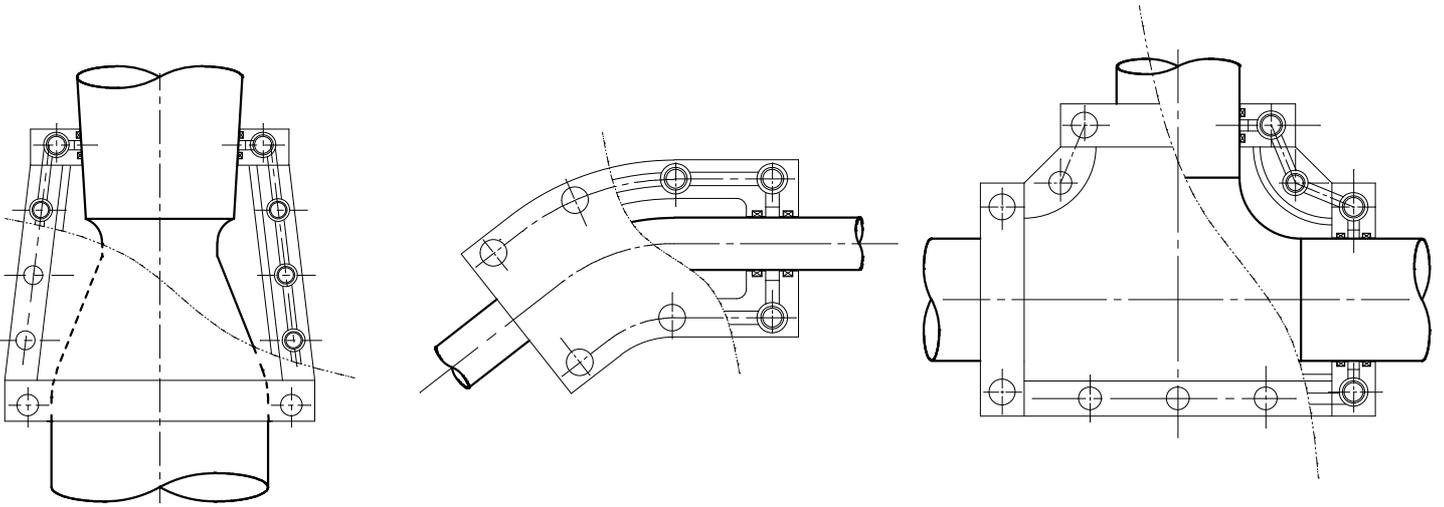
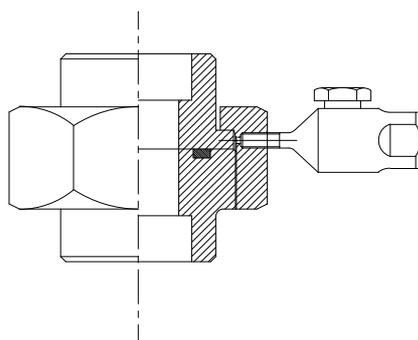


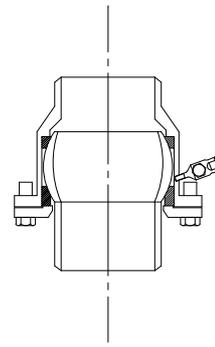
配管の漏洩補修



配管の漏洩補修では、ほとんどの場合ボックスが使用されます。小径管では、掘り込み形、大径管では製缶物のボックスになります。しかし、配管と外付けの治具によって注入空間を形作るために、パターンは無限にあり、どのような治具を作るかで、設計者の漏洩補修に関する考え方や理解度が、また、測定技術等、総合力が見えてしまいます。

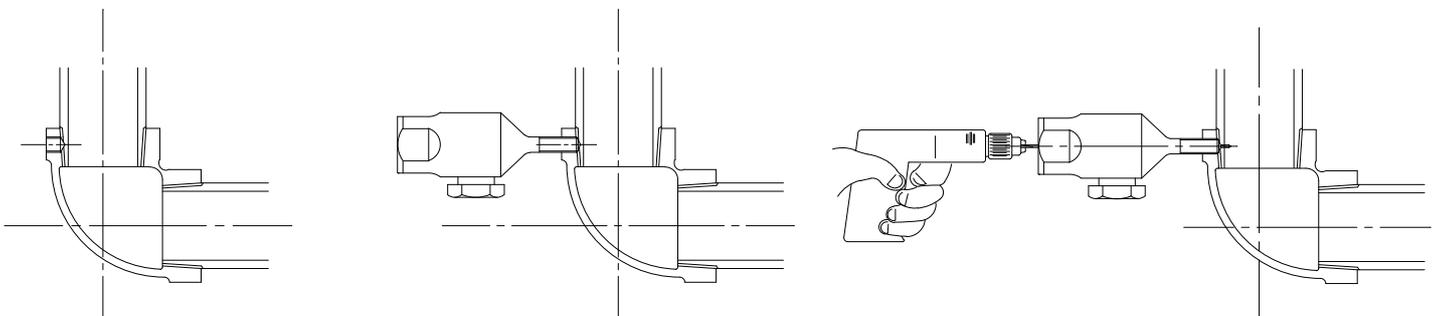


ユニオンジョイント



ボールジョイント

上の2つは、配管の補修でもボックスを使わない例です。図面や構造をよく調べることで、注入空間を見出せることがあります。



その他、配管内にコンパウンド詰め、流体の流れを殺してしまうこともできます。

